

JAIC

大学・学生・企業をつなぐキャリア情報誌

キャリアのミカタ

2023.Jan Vol.34



教育会社ジェイックの研修ノウハウを公開！
効果的な就活セミナーのポイント(2023年版)

定性的な指標をAIが評価

AI面接練習アプリ「steach」新機能『伝わりやすさ』

効果的な就活セミナーのポイント(2023年版)

年が明け、いよいよ24卒の就職支援が本格的に開始します。多くの大学様で、2月～3月にかけて、企業をお招きして就職行事を実施され、学生にとっては、就職活動本格化前の最後の準備やスタートの行事となっていることと思います。職員の皆様におかれましては、「どうやったら学生にとって良い行事にできるだろうか」「就職活動でサポートできることは何かないか」「ぜひたくさん学生の学生に参加してほしい」そんなことを思案されているのではないのでしょうか。今回は、これからたくさん検討されていく就活セミナーをより効果的にするポイントや、行動変容を促すテクニックをお伝えいたします。

■ポイント1 学生の参加意識を高める

学生たちは自らセミナーに申し込みますが、「自分が参加している」という意識を持っている人はどれくらいいるのでしょうか？「その場にいるだけ」になっていないのでしょうか？また、どれくらいの学生が集中できているのでしょうか？

明日から使えるテクニック 学生の参加意識を高める

セミナー開始前、個別の声がけ

講師が早めに会場に入室して、来た学生に声をかけましょう。

例えば、オンラインの場合、講師のあなたは15～20分ほど前に入室して学生が入れるようにしておき、入室した学生に対して「〇〇さん、ご参加ありがとうございます。こちらの声は聞こえますか？」「ちなみに今日は何を来て参加してくれたの？」など簡単な内容で良いので、1対1での声がけをしてみましょう。
その一言があるだけでも、学生は「講師は自分を見てくれている」と感じるものです。

個別フィードバック

フィードバックは、長い内容でなくても構いません。

笑顔の練習をして、笑顔が良くなった学生に「〇〇さん、笑顔が良くなったね！」と伝える、少しさぼっているように見える学生には「〇〇くん、練習できてるかな？」と声をかけるなど、ほんの一言の声がけでもOKです。

ジェイックでは、時間をとって面接のロールプレイングを行う時、できるだけ1人1回以上、声をかけて、褒めたりアドバイスをしたりするようにしています。

全体での声がけで空気を作る

学生の行動や発言は全体の場合でもフィードバックし、空気を作りましょう。

集合研修の場合は特に、個々の学生がリアクションをしなくても、内容が進んでいってしまいます。学生からのリアクションが減ったときは、集中力を戻すような声がけが効果的です。

例えば、「聴き方だけで内定が出そうなのは、現在、〇名程度ですね。今から面接モードへ切り替えましょう」「勇気を出して発表してくれてありがとう。みんなも知りたかったことだろうから、質問してもらえて良かったです」などの声がけをしましょう。

「講師が自分を見ていて、見てくれている」と学生が感じることは、良い緊張感にもつながりますし、学生の研修満足度にもつながります。

■ポイント2 アウトプットさせる

あらゆることが、ネットで調べれば簡単にわかる時代です。しかもネット上には「まとめ記事」があるなど、学生たちは情報収集のタイムパフォーマンスが高い中で生活を送っています。それだけに、「ただ聞いていればよいだけ」のような研修を行うと、学生はすぐに「視聴者」になってしまいます。

明日から使えるテクニック 発言するのが当たり前

挙手させる

セミナー中、学生に挙手させる機会を意図的に多くとります。

例えば、「今まで、自分の面接のフィードバックをもらった人いる？」
「逆に、そういったフィードバックを何ももらったことがない人は？」
など、どちらも聞くと、学生はどちらかに手を挙げざるをえません。

まずは、簡単な挙手で手を挙げる空気を作りましょう（個々の空気づくりが、以降の発言のしやすさにつながります）。

発言させる

「当てられる授業は集中して聴く」という学生は今も昔も多いかもしれませんが、就活セミナーでも同様です。

「ここまでの講義で、印象に残っていることって何？」「今の話、〇〇さんはどう思った？」「〇〇について、〇〇さんはどう理解した？」など、臆せず学生に問いかけます。
ここで大事なのは学生に発言してもらうことですから、簡単な問いかけでよいですし、学生の発言は、どんなものでも基本的には歓迎・肯定する姿勢が大切です。

実践型のワーク

学習効果や学生の満足度を高める上で非常に効果的なのが、「実践型のワークを取り入れること」です。

- ・企業研究セミナーの場合
 - △企業研究のやり方を伝える
 - ◎実際の企業をしらべてみる
- ・自己分析セミナーの場合
 - △やり方を伝える
 - ◎自己分析を書き出して、見つけた強みを共有する

実践することで、学生は「自分でできるようになった」と、成長や研修効果を実感しやすくなります。

就活はペーパーテストではなく「実践」ですから、知識を知っていても、実際に実践できなければ意味がありません。ですから、こうしたセミナーも、一方的に学生に伝えるのではなく、「自分で実際にできるようになる、そのためのアウトプットをさせる」場であることが望ましいのです。

また、発言の内容などは基本的には否定せず、「この場では自分の意見を言っているのだ」と心理的安全性をもってもらうことも大切です。

■ポイント3 大切なのは継続し、身に付けること

研修実施後の学生アンケートを見て、満足度が高かった時に安心していませんか？重要なのは、研修を受けた学生が、実際の面接の場で実践できることです。研修はあくまでも、行動変容に繋げる為のきっかけです。「あのセミナーでやったことが活かされた」「あの日に聞いたことを実践したら、選考がうまくいった」、そんな実感を学生が持つことができれば、セミナーの効果があった、セミナーが成功したといえるのではないのでしょうか。

明日から使えるテクニック 今後の行動を決める

目的を設定する

セミナーの前に、必ず目的・ゴールを設定しましょう。

今の課題や今日解決したいことなどを設定して、書き出しておきます。例えば、書類選考に課題を抱えている学生であれば「自己PRのポイントを理解する」、面接が通過しない学生であれば「面接練習で自信をつける」でもよいです。

「自分は今日、何を不得帰るのか」を設定することで、自分の改善点に向き合うことができます。

宿題を設定する

セミナーの最後には、今後、何を実践するのかを設定します。

ポイントは、「いつ、何を実践するのかを具体的に決める」ことです。例えば、「3日後にある面接で、今日の研修で学んだPREP法を使って自己PRを話す」など。「今日、学んだことを意識して面接に臨む」では不十分です。何を意識するのかまで具体的に設定しなければ、あいまいな行動を生んでしまうからです。

いつ・何をするかを具体的に設定しましょう。

後日、効果測定

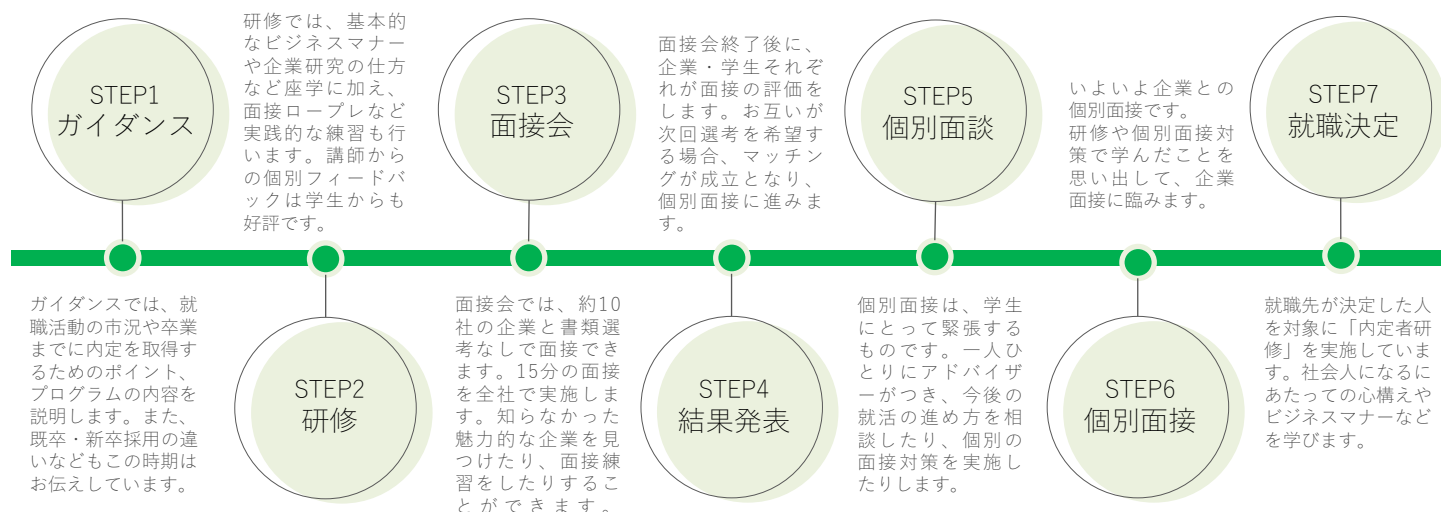
設定した宿題は、実施日に確認ができるようにしましょう。

確認がないと、そもそもやることを忘れてしまうかもしれません。やっていれば、セミナー内容の実践で成果が出た（出なかった）ということの振り返りができ、成長実感や次の行動につながります。

セミナーの1週間後に参加者にアンケートを取ったり、セミナーの構成を『セミナー→実践→振り返り』というものにしたりするのもよいかもしれません。

■一方で、23卒も佳境。卒業間際の就職イベントを実施しています。

「Web面接会」プログラムとは、22卒学生延べ3,000名以上が参加した就職支援プログラムです。



卒業目前！3エリア連続開催！

2月21日(火)22日(水)
関東エリアWeb面接会

2月21日(火)
名古屋エリアWeb面接会

2月22日(水)
関西エリアWeb面接会

一学生案内用資料をご希望の場合は、daigaku@jaic-g.comまでご連絡くださいー

AI面接練習アプリ「steach」 新機能『伝わりやすさ』

就活生の中には、「面接が不合格ばかりで理由も教えてくれないし、改善点がわからない」「面接準備って何をしたらいいのかわからない」「誰に相談すればいいのかわからない」など、面接に対して苦手意識を感じている方が多くいます。面接を通過して内定を獲得するためにも、このような苦手意識は解消していく必要があります。弊社が提供しているAI面接練習アプリ「steach（スティーチ）」は、このような就活生が手軽に面接の練習をすることができ、不安を解消できるアプリです。昨年末、新機能が追加されましたので、ご紹介いたします。

■AI面接練習アプリ「steach」とは

AI面接練習アプリ「steach」は、「ひとりで気軽に面接練習ができて、客観的な評価がもらえる」環境を実現するために開発、リリースされました。面接の質問にユーザーがスマホで回答した音声と動画から、“表情・声・身振り・そして文脈までAIエンジンが解析”し、定量的なアドバイスを行います。面接でよくされる質問を用意しており、新卒、転職、アルバイトなどの多様な面接シーンで活用いただけます。AIが人事目線で良い点・悪い点をフィードバックしてくれるので、自分一人で課題解決ができ、面接力をUPすることができます。

さらに、面接の内容が自動で文字起こしされ、練習した内容がテキスト化されるため、復習やPR作成にお役立ただけだけでなく、口癖や話の構成も目で見てチェックすることが可能です。また、面接では第一印象が大切ですが、「steach」では自撮りでの面接練習ができるため、第一印象のチェックにもご活用いただけます。

■新機能『伝わりやすさ』

「steach」は、①自信、②笑顔、③ボディーランゲージ、④声の大きさ、⑤話すスピード、⑥伝わりやすさといった6つの指標をもとに総合評価し、チャートにまとめてフィードバックします。

今回のアップデートで、『伝わりやすさ』という項目が追加されました。これまで「steach」は表情・声・身振りによる定量的な分析を行っており、話した内容については撮影・録音からセルフチェックを行えるだけでした。しかし実際の面接では、“話した内容が面接官に伝わりやすいか”も重要であるため、自然言語処理のAIモデルを用いた実証実験を繰り返し、文章の伝わりやすさを高精度で評価することを実現しました。

この機能は「文章が結論ファーストで語られているか」「数値や具体例など具体的な根拠が含まれているか」「接続詞の使い方が適切か」を主な判断基準として解析・評価します。ユーザーはこの機能を活用することで、表情・声・身振りに加えて、回答内容や文言を客観的にブラッシュアップすることができます。

steach

6つの指標で総合評価！

1. 「自信」
2. 「笑顔」
3. 「ボディーランゲージ」
4. 「声の大きさ」
5. 「話すスピード」
6. 「伝わりやすさ」



■自己PR動画を採用で利用する企業は年々増えている

近年、採用活動の効率化や、書類ではわからない就活生の人柄を探ることができることなどから、動画ESや自己PR動画の提出を求められることが増えています。動画ES・自己PR動画提出が選考フローにあり、提出を求められたことがあるという学生は半分以上というデータも出ています。動画ESや自己PR動画について、学生からは「評価基準が分からない」「容姿や印象、雰囲気だけで判断されそう」といった意見があり、面接同様、苦手意識を持っている学生が多いようです。「steach」は、このような動画ESや自己PR動画のための練習にもご活用いただけるのではないかと思います。

「steach」特設サイトへのリンク：<https://jaic-steach.jp>

ジェイック steach

検索



「steach」特設サイト
QRコード

最後までご覧いただき、ありがとうございました。少しでも貴校の就職支援の参考になれば幸いです。最後にアンケートのご協力をお願いいたします。今後のキャリアのミカタの参考にさせていただきます。率直なご意見をお寄せください。右のQRコード、もしくはURLからご回答をお願いいたします。

現在、多くの大学様から、就職支援のご依頼を受けております。お困りのことがございましたら、お気軽にお問い合わせください。最新情報や貴校に合わせた支援内容をご提供させていただきます。

キャリアのミカタアンケート
<https://forms.gle/kT65FRVdsrj1FXgk8>

